



2014年7月7日

おきぎん県内景況・確報 2014年5月

-県内景況は、拡大している-

○個人消費関連

スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は「全店ベース」で前年同月を上回り、「既存店ベース」は下回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

家電卸出荷額…消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などにより前年同月を下回る。

新車販売台数…軽自動車需要などにより前年同月を上回る。

○建設関連

公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

住宅投資・建設資材…着工戸数は前年同月を上回り、生コン、セメントもともに上回る。

○観光関連

入域観光客数…20ヵ月連続で前年同月を上回る。

観光施設入場者数…3ヵ月連続で前年同月を上回る。

主要大型ホテル稼働率…シティホテル、リゾート、ビジネスのすべてで前年同月を上回る。

ホテル客室単価・宿泊収入(推計値)…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

○倒産・雇用

企業倒産…件数は前年同月と同数、負債総額は上回る。

有効求人倍率…前月より低下。

○生産関連

鉱工業生産(4月)…前月より低下。

大口電力使用量…前年同月を下回る。

○物価関連…消費者物価指数は前年同月を上回り、ガソリン(レギュラー、軽油)価格も上回る。

現場主義とお客様からの信頼

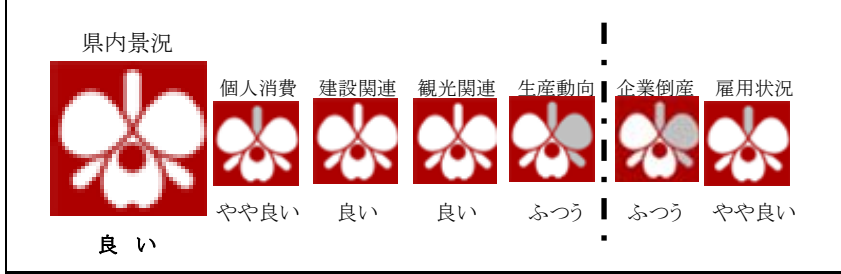
※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・確報(2014年5月分)

◎2014年5月 おきぎん「カトリア」景況図



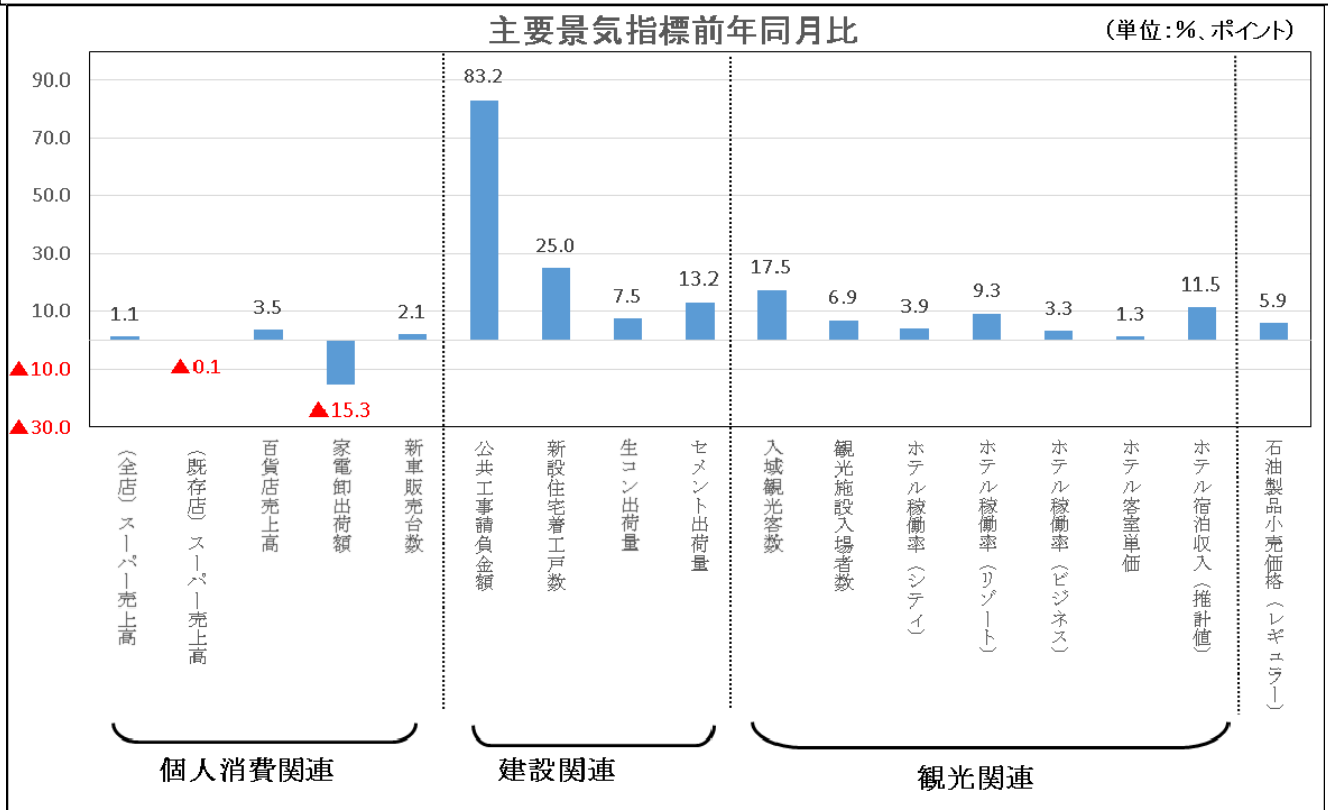
◎概況: 県内景況は、拡大している。

5月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は「全店ベース」が前年同月を上回り、「既存店ベース」は下回りました。百貨店売上高は雑貨や身の回り品などが好調で、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などにより前年同月を下回りました。新車販売台数は軽乗用車需要などにより前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は、沖縄県や市町村発注による大型工事などにより前年同月を上回りました。新設住宅着工戸数は前年同月を上回り、建設資材である生コン、セメントはともに上回りました。

観光関連では、入域観光客数は20ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費において消費税増税に伴う駆け込み需要の反動等による影響が和らぎつつあり、また、建設関連や観光関連では堅調な動きが続いていることから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。(2014年2月に上方修正後から据え置き)



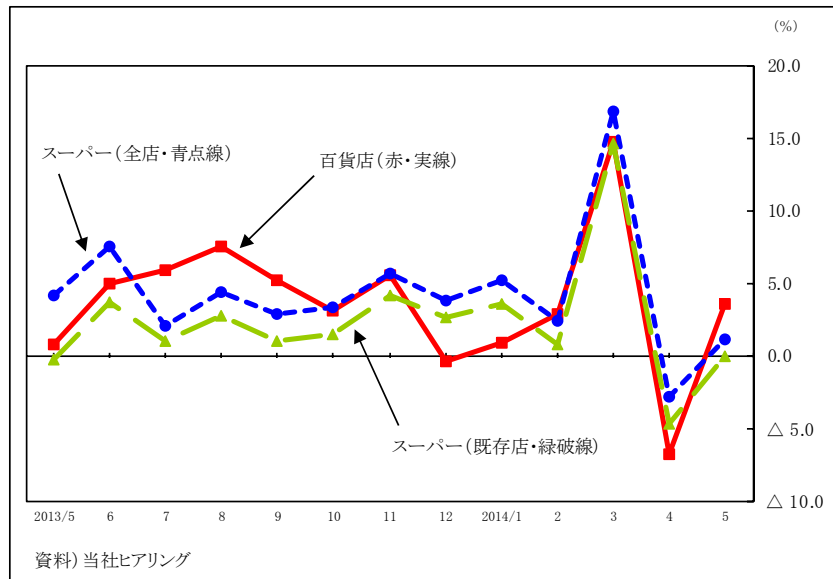


■個人消費：(やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベースは前年同月を上回り、既存店ベースは前年同月を下回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

	スーパー売上額		百貨店
	全店	既存店	売上額
2013/5	4.1	△ 0.3	0.8
6	7.5	3.7	4.9
7	2.0	1.0	5.9
8	4.4	2.7	7.5
9	2.8	1.0	5.2
10	3.3	1.5	3.1
11	5.6	4.1	5.5
12	3.8	2.6	△ 0.4
2014/1	5.2	3.6	0.9
2	2.4	0.8	2.8
3	16.8	14.6	14.7
4	△ 2.8	△ 4.7	△ 6.8
5	1.1	△ 0.1	3.5

注)前年同月比



5月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は、「全店ベース(前年同月比 1.1%増)」が2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減からの持ち直しなどが見られ、ウェイトの高い「食料品(同 2.6%増)」が前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 0.1%減)」では2ヵ月連続で前年同月を下回りました。品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同 0.8%増)」は、一部の青果物で相場価格の変動があるものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減からの持ち直しなどにより売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。一方、「衣料品(同 2.2%減)」は、昨年に比べ気温が低く天候に恵まれなかったことから夏物衣料の売れ行きが低調で前年同月を下回りました。家電を含む「家庭用品(同 2.3%減)」も消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減でエアコンや洗濯機などの白物家電や日用品(ティッシュ、トイレtpーパー、洗剤、ヘアケア等)の売れ行きが低調で、前年同月を下回りました。

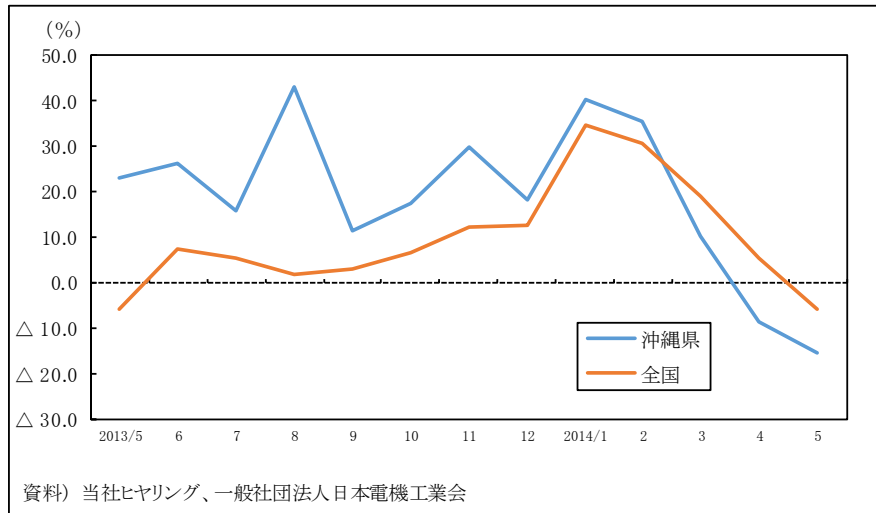
百貨店売上高は、雑貨や身の回り品の売れ行きが好調で、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました(同 3.5%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 0.6%増)」は、主力商品の「婦人服(同 0.6%減)」で高単価の婦人服の売れ行きが低調であったものの、テナント改装による集客効果などにより、「紳士服(同 8.3%増)」が伸び、前年同月を上回りました。「雑貨(同 13.2%増)」も、催事の開催が減少したものの、テナント改装による集客効果などにより前年同月を上回りました。

「身の回り品(同 3.2%増)」も、観光客数の増加やテナント改装効果により来店客数が堅調に推移したこと、また母の日に向けたセールでアクセサリやブランド品などの売れ行きが好調だったことから前年同月を上回りました。「食料品(同 4.1%増)」も、物産展の開催が減少したものの、テナント改装による集客効果などから、前年同月を上回りました。

②家電卸出荷額…消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などにより前年同月を下回る。

単位:%		
	沖縄県	全国
2013/5	23.2	△ 5.7
6	26.3	7.6
7	15.9	5.6
8	43.0	1.6
9	11.3	2.8
10	17.6	6.8
11	29.9	12.3
12	18.2	12.7
2014/1	40.4	34.7
2	35.6	30.6
3	10.2	19.1
4	△ 8.7	5.3
5	△ 15.3	△ 5.7

注)前年同月比



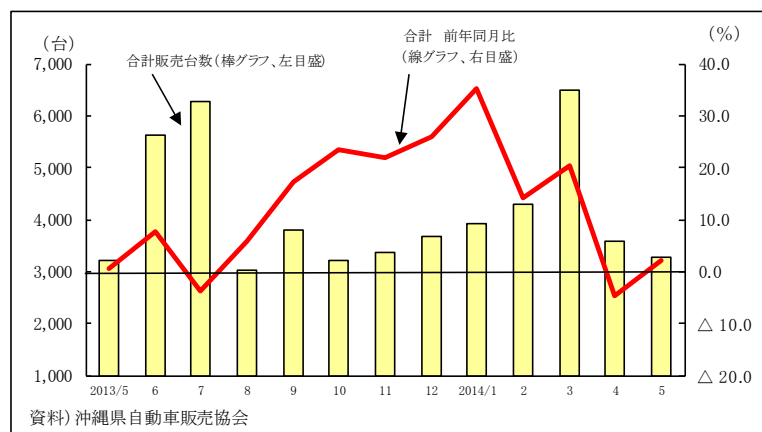
家電卸出荷額は、総じて消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減により、2ヵ月連続で前年同月を下回りました(同 15.3%減)。品目別でみると、「テレビ(同 47.3%増)」は2014年6月から試験放送が始まる4Kテレビの売れ行きが好調で前年同月を上回りました。一方、「冷蔵庫(同 19.3%減)」、「エアコン(同 6.8%減)」「洗濯機(同 0.6%減)」は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減により売れ行きが低調で、前年同月を下回りました。また、「太陽光パネル(同 33.2%減)」も、固定買取価格引下げに伴う需要の落ち着きなどにより売れ行きが低調で、前年同月を下回りました。

③新車販売台数…軽乗用車需要などにより前年同月を上回る。

単位:台,%					
	台数	合計	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
2013/5	3,217	0.5	13.2	△ 3.8	△ 2.0
6	5,620	7.8	30.9	27.0	△ 13.4
7	6,267	△ 3.7	△ 7.8	△ 2.4	△ 9.2
8	3,023	5.8	△ 14.3	2.5	6.6
9	3,808	17.2	4.2	24.1	14.6
10	3,226	23.5	37.2	52.4	12.6
11	3,356	21.9	46.3	12.8	16.9
12	3,689	26.1	51.9	24.9	23.7
2014/1	3,929	35.4	54.4	61.6	24.4
2	4,307	14.1	43.0	△ 7.2	17.1
3	6,481	20.5	26.1	23.1	15.8
4	3,590	△ 4.6	△ 12.9	△ 20.3	4.9
5	3,284	2.1	△ 0.9	△ 2.0	5.1

注)前年同月比

注)普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。



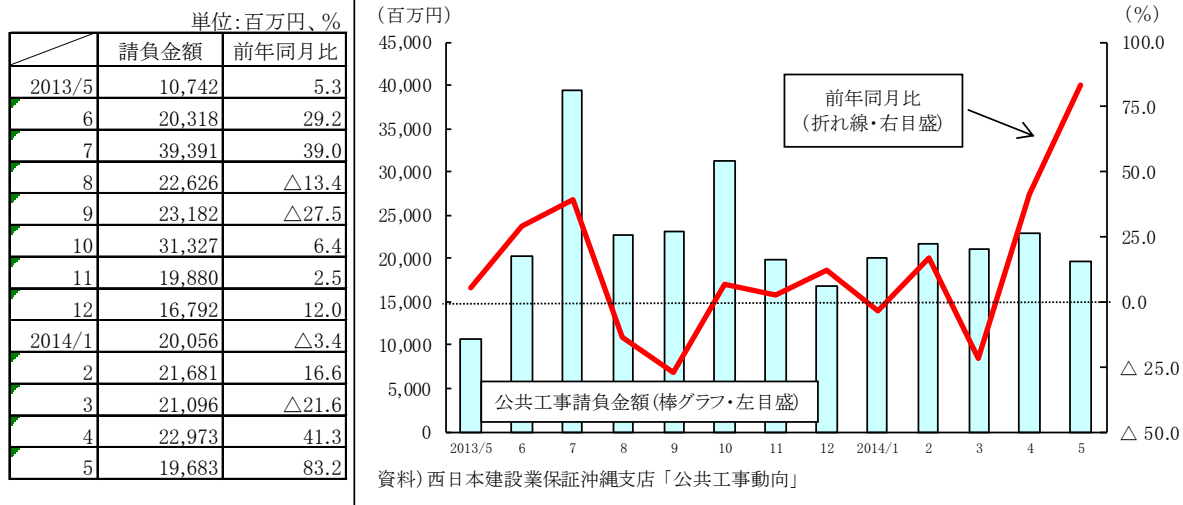
新車販売台数は、全体で3,284台となり、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました(同 2.1%増)。消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減などにより「普通乗用車(同 0.9%減)」が2ヵ月連続、「小型乗用車(同 2.0%減)」が2ヵ月連続で前年同月を下回りました。一方、「軽乗用車(同 5.1%増)」は、ランニングコスト(税負担、車検費用など)の安さから堅調に推移し、10ヵ月連続で前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



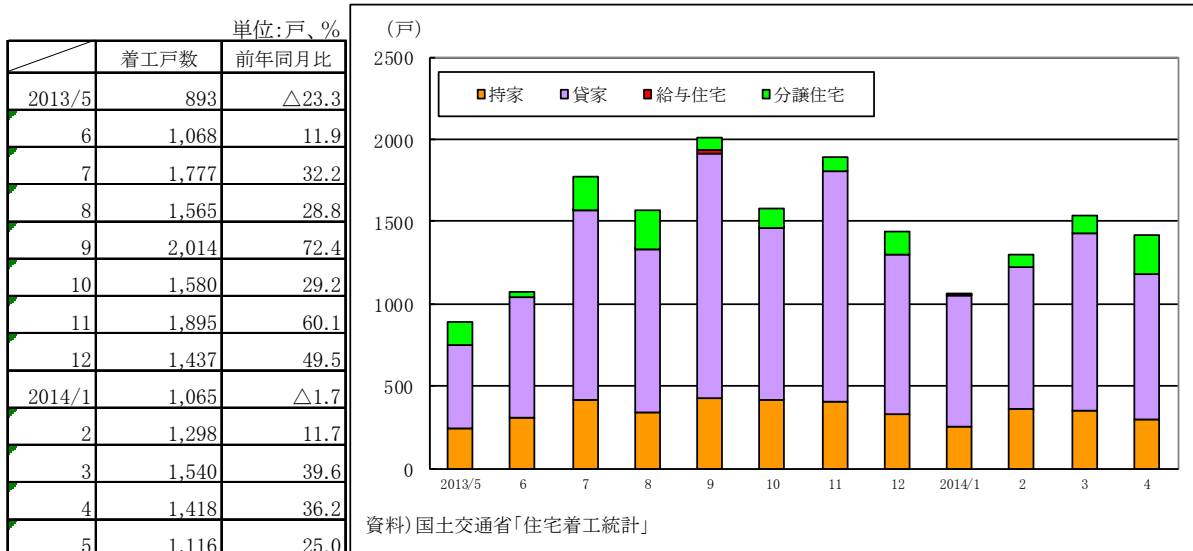
■ 建設関連: (良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。



5月の**公共工事請負金額**は、前年同月比83.2%増の196億8,300万円となりました(2ヵ月連続増)。発注者別でみると、「その他の公共的団体(同10.8%減)」が前年同月を下回ったものの、「国(同70.5%増)」は宮古島市での地下ダム関連工事、「独立行政法人等(同5.4%増)」は沖縄自動車道関連工事、「沖縄県(同117.1%増)」は中部地域での浄水場関連工事、「市町村(同85.2%増)」は離島地域での製糖工場関連工事などで上回り、全体を押し上げました。

②住宅投資等…着工戸数は前年同月を上回り、生コン、セメントもともに上回る。

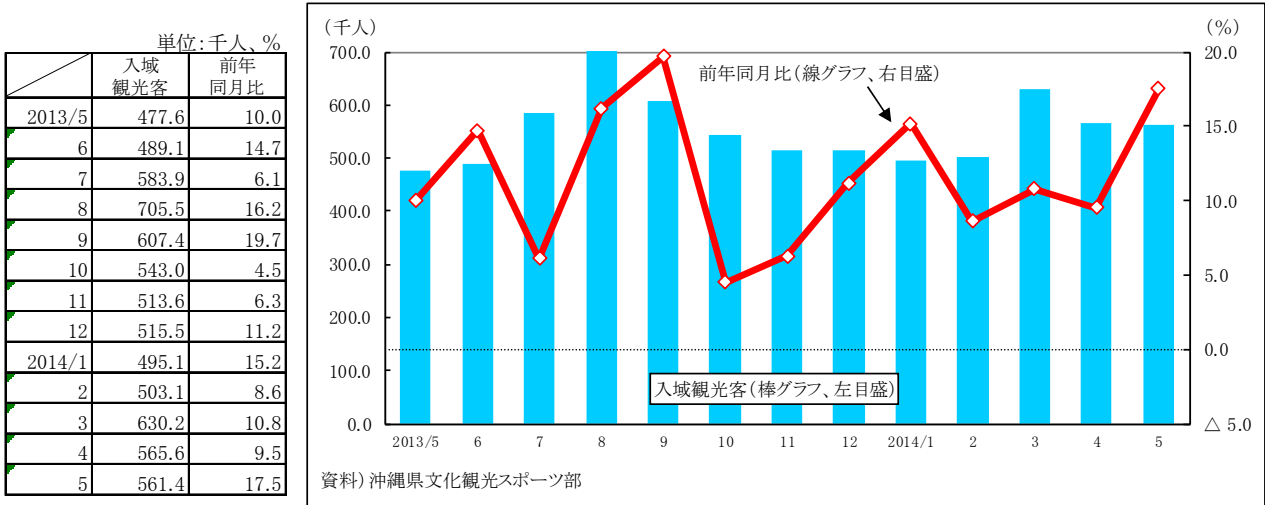


5月の**新設住宅着工戸数**は、全体で前年同月比25.0%増の1,116戸と4ヵ月連続で前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウェイトの高い「貸家(同65.8%増)」や「持家(同10.7%増)」が前年同月を上回りました。**建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は7.5%増加し、7ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より29.0%増加したものの、民間工事向け出荷は0.4%減少しました。**セメント**の出荷量は13.2%増と7ヵ月連続で前年同月を上回りました。



■観光関連： (良い)

①入域観光客数…20ヵ月連続で前年同月を上回る。



※外国客は乗務員等を含む

5月の入域観光客数は、83,800人多い561,400人(前年同月比17.5%増)となり、20ヵ月連続で前年同月を上回りました。(5月としては過去最高)

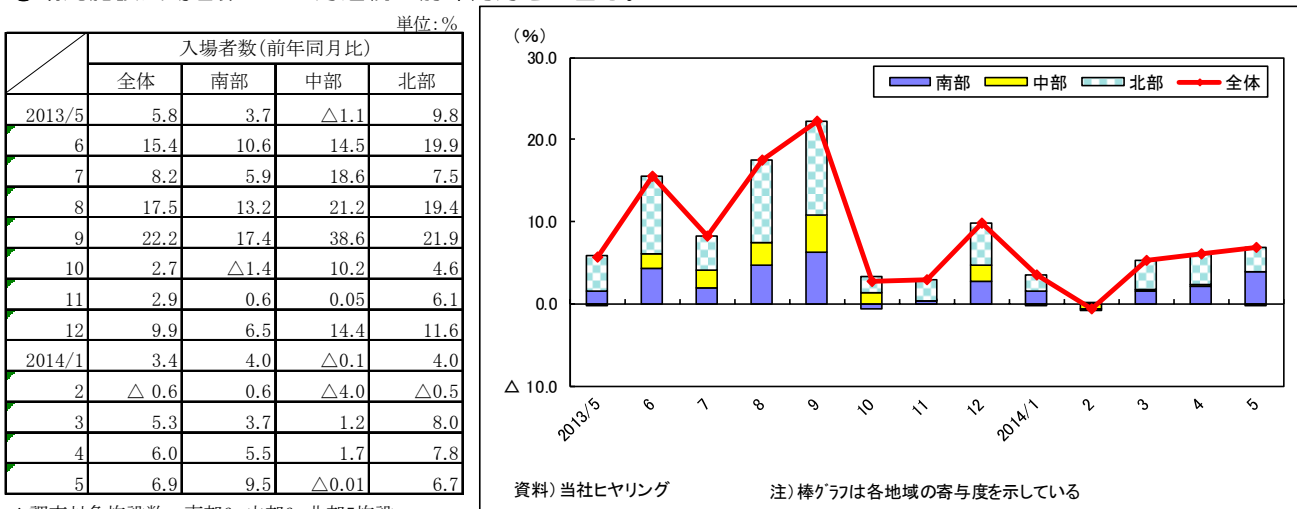
内訳をみると、「国内客(同12.3%増)」は469,700人と継続的なLCC・石垣路線の拡充などに国内クルーズ船の寄港も加わり、7ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同54.4%増)」は、91,700人と10ヵ月連続で前年同月を上回りました。継続的な円安効果、航空路線の拡充、尖閣問題等で落ち込んだ前年の反動(中国客)などのほか、クルーズ船の寄港回数増加も加わり、各地域から増加しました。

「台湾(同54.8%増)」「韓国(同78.9%増)」「中国本土(同97.5%増)」「香港(同34.1%増)」

※ 乗務員等を除く2014年5月実績=全体546,100人(同17.4%増)、外国客76,400人(同62.6%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…3ヵ月連続で前年同月を上回る。



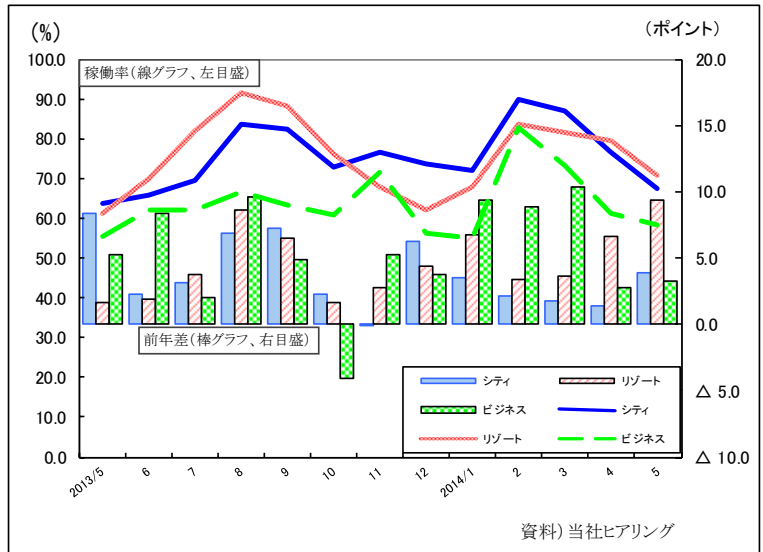
※調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設

観光施設入場者数は、全体で前年同月より6.9%増加(3ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同9.5%増と7ヵ月連続、北部は同6.7%増と3ヵ月連続で前年同月を上回りました。中部は同0.01%減とほぼ横ばいとなりました。

③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2013/5	63.5	61.3	55.2	8.3	1.7	5.3
6	65.9	70.1	61.9	2.2	1.9	8.4
7	69.4	82.1	62.0	3.1	3.8	2.0
8	83.8	91.7	66.7	6.9	8.6	9.6
9	82.4	88.0	63.3	7.3	6.5	4.9
10	73.0	76.2	60.6	2.2	1.6	△ 4.1
11	76.6	67.7	71.6	△ 0.1	2.7	5.2
12	73.7	62.0	56.4	6.3	4.4	3.7
2014/1	72.0	68.0	55.1	3.5	6.8	9.3
2	90.0	83.5	82.9	2.1	3.4	8.9
3	86.8	81.7	73.3	1.8	3.6	10.3
4	76.5	79.5	61.2	1.4	6.6	2.7
5	67.4	70.6	58.5	3.9	9.3	3.3



注)シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

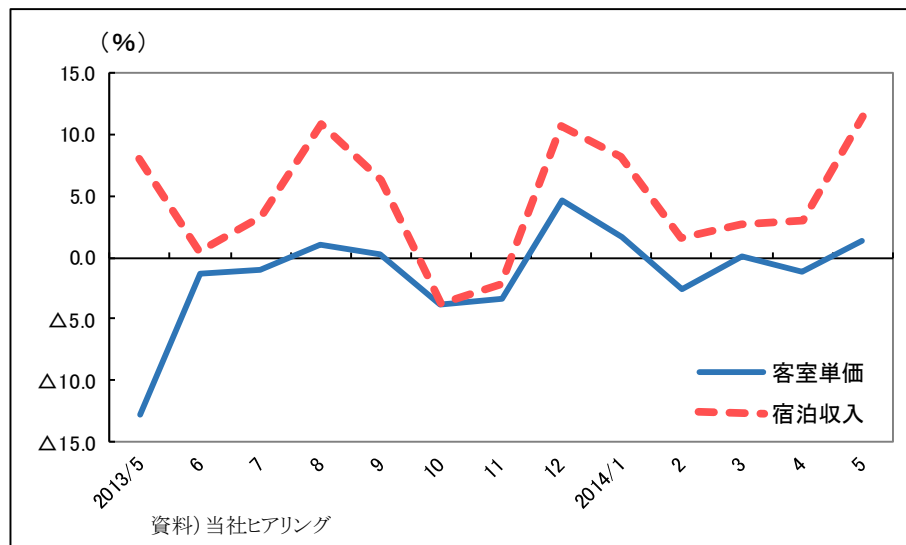
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが67.4%と3.9ポイント上昇(6ヵ月連続)、リゾートホテルが70.6%と9.3ポイント上昇(17ヵ月連続)、ビジネスホテルが58.5%と3.3ポイント上昇(7ヵ月連続)しました。

④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2013/5	△12.8	8.0
6	△1.4	0.6
7	△1.0	3.2
8	1.0	10.8
9	0.3	6.3
10	△3.8	△3.8
11	△3.4	△2.1
12	4.6	10.6
2014/1	1.6	8.1
2	△2.6	1.5
3	0.1	2.7
4	△1.2	3.0
5	1.3	11.5



※対象施設数:29施設(シティ10、リゾート19)、ビジネスは除く

※客室単価は29施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

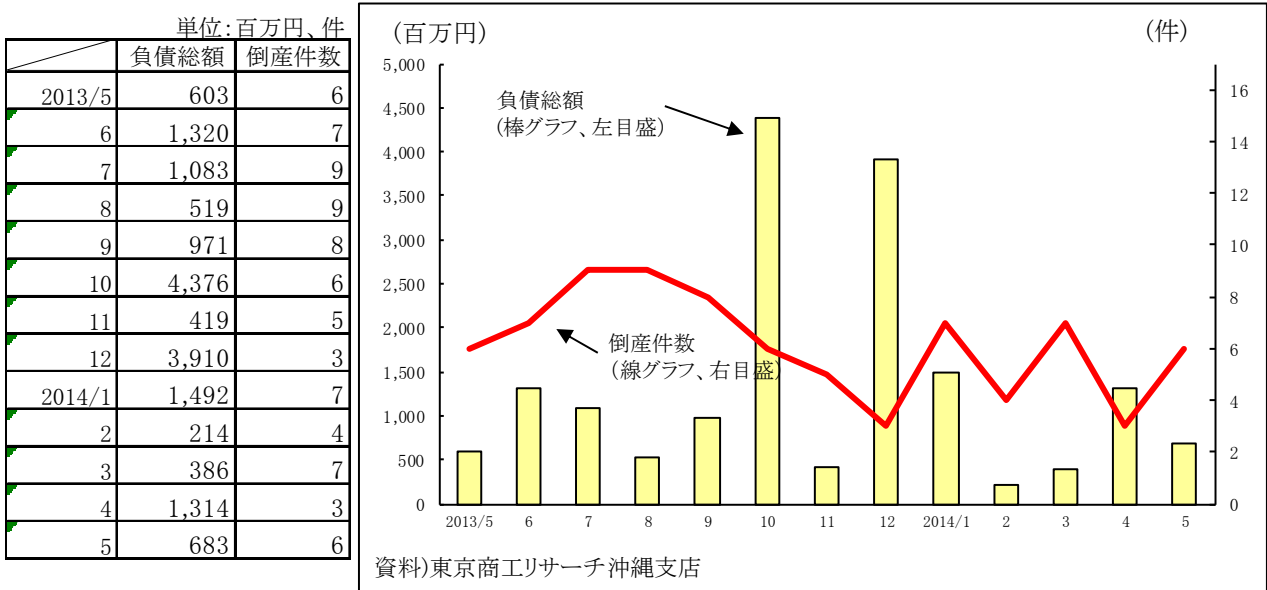
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする

※2014年4月指標より新たに掲載

ホテル客室単価(シティ&リゾート)が前年同月比1.3%増と前年同月を上回ったほか、稼働率の上昇等により**宿泊収入**も同11.5%増と前年同月を上回りました。

■企業倒産： (ふつう)

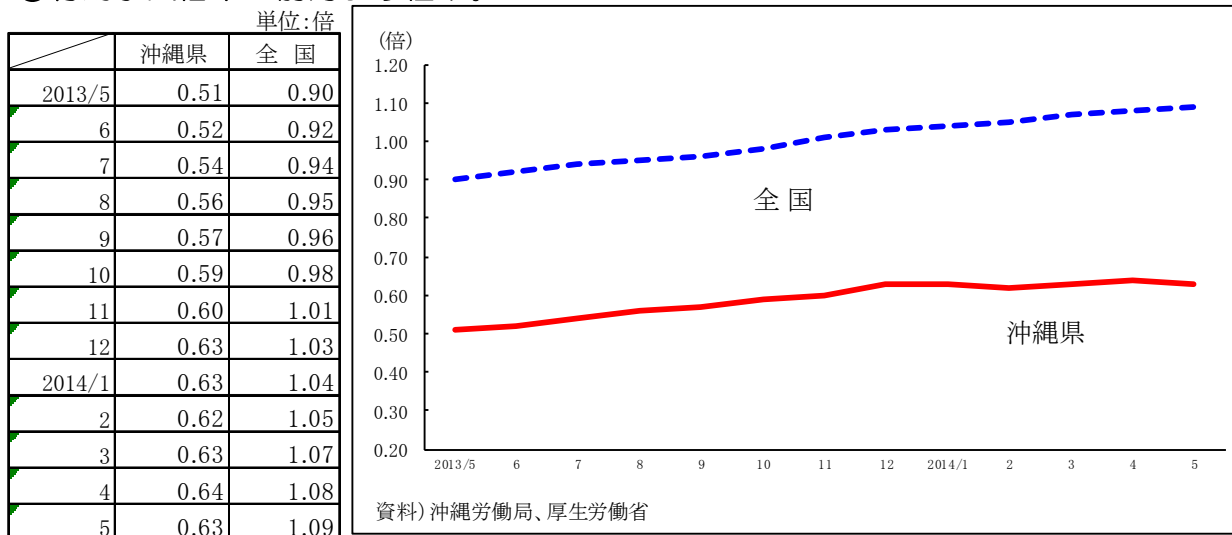
企業倒産…件数は前年同月と同数、負債総額は上回る。



5月の**企業倒産件数**は、6件(うち、10億円以上の大型倒産が0件、1億円以上の大口倒産3件)発生し前年同月と同数、負債総額は6億8,300万円と13.3%上回りました。


■雇用関連： (やや良い)

①有効求人倍率…前月より低下。



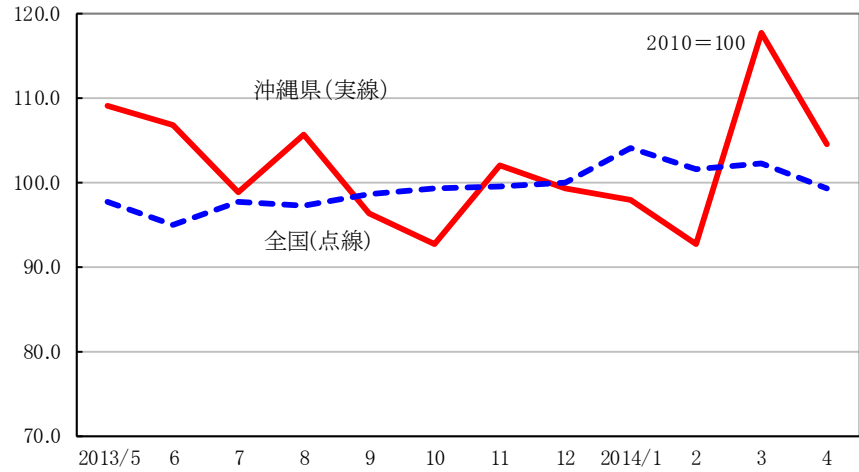
注) 季節調整済

5月の**雇用状況**は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比3.3%減の18,735人に対して、月間有効求職者数(同上)は同2.4%減の29,669人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.63倍となり前月より0.01ポイント低下しました。完全失業率(原数値)は前年同月より1.1ポイント低下し、5.4%となりました。

■ 鉱工業・大口電力関連:  (ふつう)

① 鉱工業生産指数(4月)…前月より低下。

	沖縄県	全国
2013/5	109.0	97.7
6	106.8	95.0
7	98.8	97.6
8	105.5	97.1
9	96.3	98.6
10	92.6	99.2
11	101.9	99.5
12	99.3	100.0
2014/1	97.9	103.9
2	92.6	101.5
3	117.6	102.2
4	104.5	99.3
5	-	P 99.8



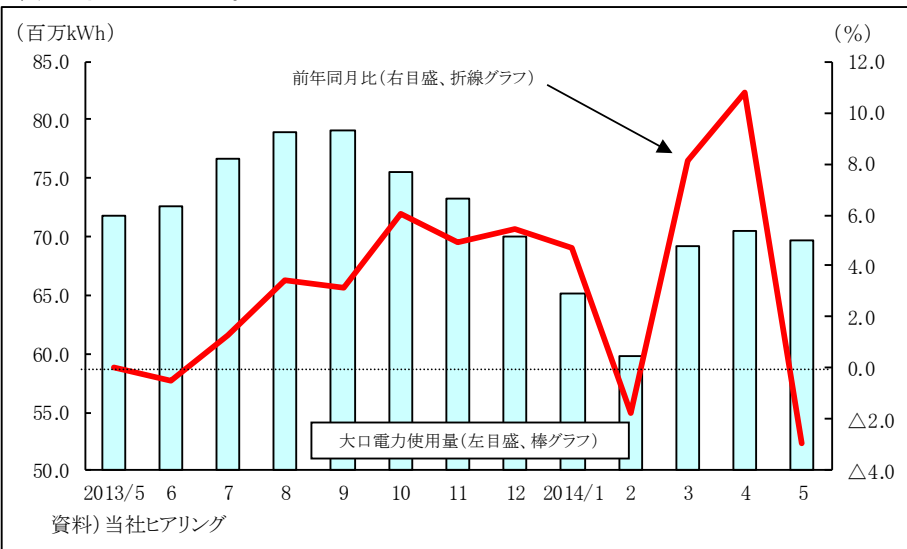
資料) 沖縄県統計課「沖縄県鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業指数」

注) 数値は季節調整済指数

鉱工業生産指数(県内:4月)は、前月より11.1%低下し、104.5となりました。産業別にみると、「金属製品工業(同 40.4%減)」や「その他の工業(同 38.4%減)」、「食料品工業(同 10.2%減)」等の業種で前月を下回りました。

② 大口電力使用量…前年同月を下回る。

単位: 百万kWh、%		
	大口電力 使用量	前年 同月比
2013/5	71.7	0.0
6	72.6	△0.5
7	76.6	1.3
8	78.9	3.4
9	79.2	3.1
10	75.5	6.0
11	73.3	4.9
12	70.0	5.4
2014/1	65.1	4.7
2	59.7	△1.8
3	69.2	8.1
4	70.5	10.8
5	69.7	△2.9

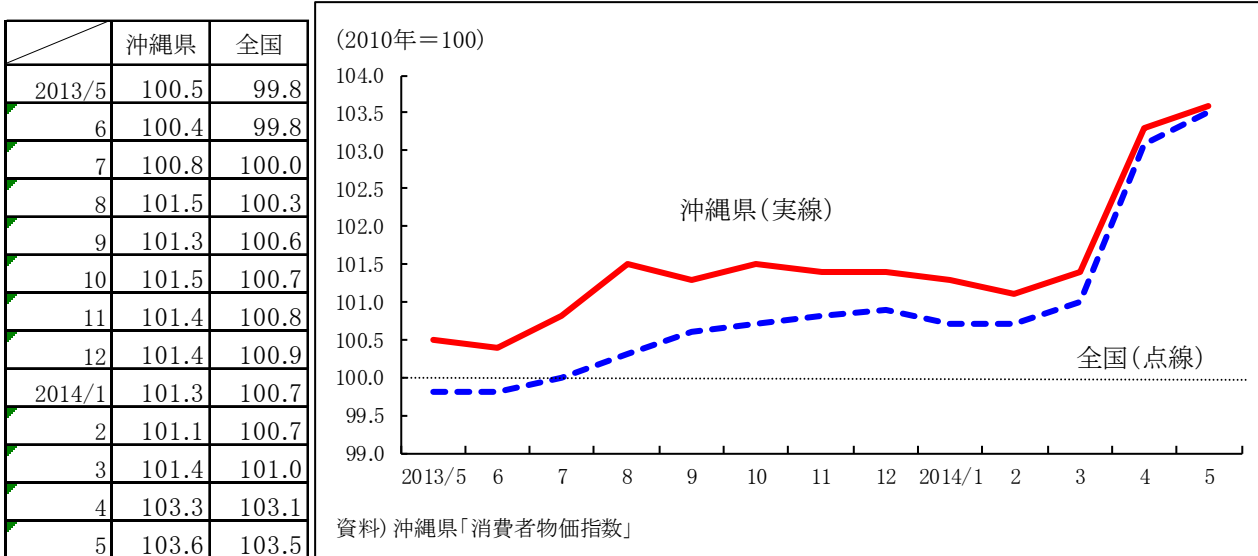


資料) 当社ヒアリング

5月の大口電力使用量は、「窯業土石製造業(同 32.0%減)」や「鉄鋼製造業(同 6.9%減)」が生産量の減少などに下回り、全体で2.9%減と前年同月を下回りました。

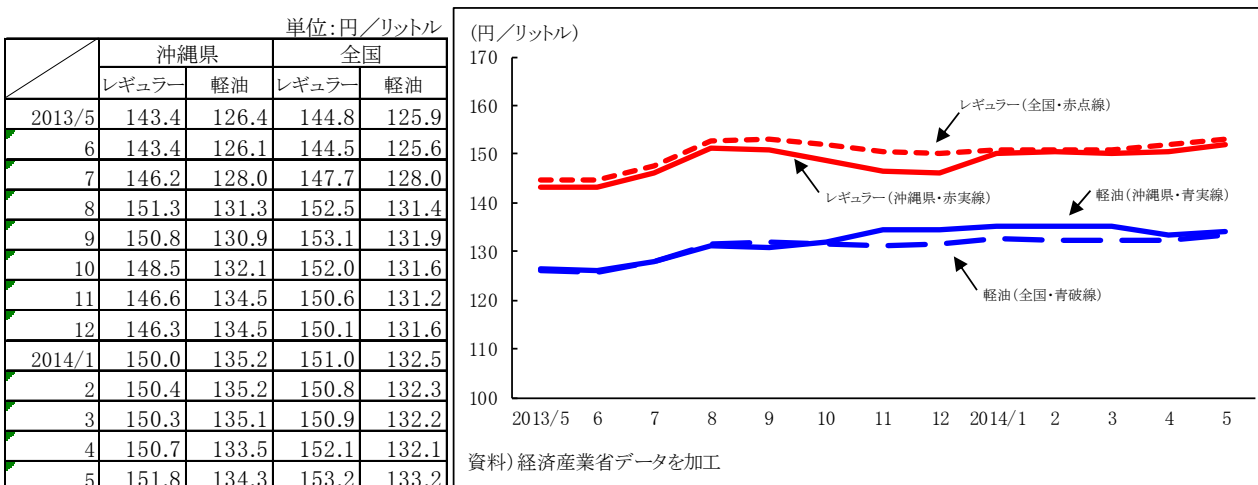
■物価関連:  (ふつう)

①消費者物価指数…前年同月を上回る。



5月の消費者物価指数(総合)は、前年同月比3.1%上昇し、103.6となりました。内訳をみると、調理食品を含む「食料(同4.4%増)」や自動車等関係費を含む「交通・通信(同3.2%増)」などが全体を押し上げました。

②ガソリン小売価格(税抜き)…前年同月を上回る。



注) 各月次データは、週次調査結果の平均値を用いている。
注) 本データについて消費税率引き上げに伴い、当月より税抜き価格を表示している。

5月のガソリン小売価格等(税抜き)において、県内におけるレギュラー小売価格は前年同月より5.9%上昇し、軽油小売価格も前年同月より6.3%上昇しました。